

## エクセルシア、またはニューヨーク州の州章 Excelsior, or the Great Seal of the State of New York

寺内孝

Takashi TERAUCHI

アメリカ合衆国には国家の印章となる国印(国璽)(the great seal of the United States)があるが、それぞれの州にも独自の印章(州章)がある。ニューヨーク州の州章は独立宣言2年後の1778年に州議会の上院で制定された。その後、小変更が5回加えられ、1882年に今日のものに落ち着いている。以下は図柄の解説である。

章の中央に楯、楯の上部に日の出、下部にハドソン川を航行する船が描かれている。日の出は新世界の出現を、船は商業を暗示する。楯の下に"EXCELSIOR"の標語があり、左右に正義の女神(Justice)が立つ。右側の女神が目隠し(veiled eyes or bandaged eyes)をしているのは公明正大の証し。左手に平衡秤(平衡天秤ばかり)(balanced scale or saucer-scales)を持っているのは罪と罰の釣り合い、または公平・公正・正義を表しており、右手の剣(sword)は暴政に対する反撃を意味する。左側の女神が左足を王冠に架けているのはイギリス支配の終焉を表し、右手で槍または棒(spear or pole)を支え、その先端に円錐形のフリジア(フリギア)帽(phrygian cap or bonnet)を被せているのは自由または共和国の表象。ちなみにフリジア帽は自由の帽子(cap of liberty or liberty cap)とも呼ばれ、古代フリジア人が使用したもので、ローマ時代には開放奴隷が開放の証しに与えられた。ここからフリジア帽はしばしば自由または共和国の象徴とされ、フランス革命時には革命家がかぶり、合衆国では自由の象徴として紀元1800年頃まで使用されている。

正義の女神像の有名な一つはロンドンのオールド・ベイリー(Old Bailey)街にある中央刑事裁判所(俗称Old Bailey)の丸屋根の先端に立つ。

州章の中央うえにワシ(eagle)が描かれているが、ワシは古来、威厳、権力、勇気、不死などの象徴で、ローマ時代にはローマ帝国の軍旗に描かれており、'the Roman eagle' といえは「ローマのワシ印軍旗」のことで、ワシは帝国の象徴であった。十字軍や東ローマ帝国では、イヌワシ(the golden eagle)と、翼を広げたワシ(the spread eagle)とが記章化されているし、帝政期のフランス、プロシヤ、ロシアなどもそれらは王・皇帝の象徴とされた。ニューヨーク州はアメリカ諸州の中で最初にワシを州章に採り入れた州である。このワシが西を向いているのは旧世界からの離反と新世界の独立を表す。

アメリカでは1782年の大陸会議で合衆国の国璽(the first great seal of the United States)が制定されたが、このとき北米産のハクトウワシ(白頭ワシ)(bald or white-headed eagle, or American eagle)が国鳥とされた。このワシは双頭でなく単頭、左つめ(talon)に矢(arrows)、右つめに一本のオリーブ(olive)の枝を持ち、翼を広げている。

ニューヨーク州の州章で、ワシの下に地球が描かれているのは世界の一部としてのアメリカを表し、地球がワシと共に描かれることによって力の聖化を象徴する。ちなみにワシは聖書にもよく登場し、キリスト教美術においてワシは福音書の聖ヨハネ(福音者ヨハネ)の象徴である。ここから教会では、翼を広げたワシ形の台が聖書台に使用される。<sup>1</sup>

本稿はディケンズ・フェロウシップ日本支部2002年度秋期大会(2002年10月5日、於甲南大学)において口頭発表した原稿に加筆・修正したものです。

- 1 アメリカの国章(国璽)及び各州の州章の一覧表はウェブスター第2版巻頭の2表(Plate II)や下記 Encyclopaedia Britannica 22巻831頁等にも見られる。なお、下記参照文献のうち、'Justice' は小稲、福原、Murray を、'scales' は Cirlot、Vries を、'eagle' はアト、加島、井上(547頁)、小稲、ランダムハウスを、'bald eagle' は小稲、Americana(q.v. American Eagle)を、'phrygian cap' と 'liberty cap' は小稲、ランダムハウス、Goveなどをそれぞれ参照した。

#### 参考文献

- アト・ド・フリース 『イメージ・シンボル事典』大修館、1988。  
井上義昌編 『英米風物資料辞典』開拓者、1971。  
加島祥造訳 『ブルーワー英語故事成語大辞典』大修館、1994。  
小稲義男・他編 『研究社新英和大辞典』研究社、1980。  
福原麟太郎、岩崎民平監修 『基本英語百科辞典』研究社、1968。  
小学館ランダムハウス英和大辞典編集委員会編 『小学館ランダムハウス英和大辞典』小学館、1979。  
Berg, Annemarie. *Great State Seals of the United States*. New York: Dodd, Mead & Company, 1979, 103-105.  
Cirlot J. E. *A Dictionary of Symbols*. London & Henley: Routledge & Kegan Paul, 1981.  
Vries, Ad de. *Dictionary of Symbols and Imagery*. Amsterdam & London: North-Holland Publishing Company, 1984.  
*Encyclopedia Americana*. New York. 1966 ed.  
*Encyclopaedia Britannica*. Chicago, etc. 1966 ed.  
Gove, Philip Babcock, ed. *Webster's Third New International Dictionary of the English Language*. Springfield: G. & C. Merriam, 1961.  
Murray, James A. H., et al. *The Oxford English Dictionary*. Oxford: Clarendon Press, 1933, 1989.